

2025.07.27

☎
お問い合わせ

「メノエイドコンビパッチ」出荷停止のお知らせ

2025年7月25日、日本産科婦人科学会から「メノエイドコンビパッチ」出荷停止の案内がありました。

「メノエイドコンビパッチ」は、更年期障害などに対するホルモン補充療法（HRT）で用いられる薬剤で、エストロゲン（E：卵胞ホルモン）とプロゲステロン（P：黄体ホルモン）の合剤です。

この薬剤は、ホルモン成分を皮膚から吸収するパッチ剤で、週2回貼り換えるタイプであり、当院でも多くの方に処方しております。

今回、製剤のフィルムの一部が剥離するというケースが発生したことから、メーカーは万全を期して。この薬剤の自主回収および出荷停止を決定したそうです。

ただし、有効性への影響や重篤な健康被害の恐れはない、と考えられているため、現在メノエイドコンビパッチをご使用中の方は、手持ちの薬剤を従来通り継続して頂きますよう、お願い致します。

尚、手持ちが終了した方は、出荷が再開するまでの間、別の薬剤を使用することになります。以下、当院での代替処方例をお示します。

○ジュリナ錠（E）+エフメノカプセル（P）

ジュリナ錠1錠または2錠と、エフメノカプセル1個を就前に毎日服用して頂きます。

○エストラーナテープ（E）+エフメノカプセル（P）

2日に1回エストラーナテープを貼り替えて頂き、エフメノカプセル1個は就前に毎日服用して頂きます。

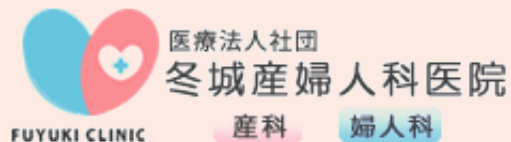
○ディビゲルまたはル・エストロジェル（E：ジェル状）+エフメノカプセル（P）

ディビゲル1包またはル・エストロジェル(1プッシュまたは2プッシュ)を毎日1回皮膚に塗って頂き、エフメノカプセル1個は就前に毎日服用して頂きます。

ちなみに、上記のエフメノカプセルにより、日中眠くなるなどの副作用が強い方は、プロゲスチン製剤として「デュファストン錠」に切り替えることもあります。

また、閉経後骨粗しょう症でHRTをされている方は、EP合剤の内服薬である「ウェールナラ配合錠」を連日1Tずつ服用して頂くこともできます。

当院では薬剤の切り替えの際、ご本人とご相談の上、最も適した薬剤をお勧め致します。
尚、今後メノエイドコンビパッチの出荷再開の情報が入りましたら、ご報告致します。



冬城産婦人科医院

> 医院案内

> スタッフ紹介

産科

> 妊娠中・産後サポート

> 分娩・入院

診療科目 産科・婦人科

住所 〒158-0081 東京都世田谷区深沢6-20-8

☎ 03-3701-5681

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00～12:00	●	●	●	/	●	●	/
14:00～18:00	●	●	●	/	●	/	/
14:00～16:00	/	/	/	/	/	●	/

電話受付 9:00～18:00
(土 9:00～16:00)
※外来は原則として予約制となります。
※受付は診察終了時間の30分前までにお
願いします。

休診日 木曜・日曜・祝日

- > アクセス
- > 院長コラム
- > 婦人科疾患
- > スタッフブログ
- > プライバシーポリシー

- > 母乳外来
- > マタニティヨガ、産後ヨガ
- > 産後ケア入院

婦人科

- > 検診のご案内
- > 婦人科疾患
- > 更年期障害・プラセンタ療法・
膣外陰部レーザー治療
- > 避妊・中絶・流産手術



Page Top